

令和4年度事業報告

当協会は、令和4年度において、定款に掲げる目的を達成するため、寄附金、協賛金、賛助金、公益財団法人JKAからの競輪公益資金による補助金、独立行政法人日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ助成金等を得て、以下の事業を実施した。

1 ツール・ド・北海道競技会の開催

第36回目を迎えた自転車ステージレース「ツール・ド・北海道2022」は、令和4年9月9日から9月11日までの3日間にわたり、北海道の道央地域（札幌市、共和町、倶知安町、苫小牧市等）において、一般公道を使用した町から町へと巡るロードレース（総走行距離530Km）を実施した。

本大会は、国際自転車競技連合（UCI）公認の国際大会（クラスME2.2）として、実施し、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、海外から1チーム、国内から13チーム（コンチネンタルチーム7、北海道地域選抜チーム1、大学生チーム5）の合計14チーム、選手68名が参加して行われた。

9月9日の第1ステージは、3日間の中で最も過酷な山岳コースであり、朝里峠や毛無峠等の山岳ポイント（KOM）を超えて、共和町生涯学習センターでフィニッシュする171Kmのコース。完走者48名。

9月10日の第2ステージは、倶知安町ニセコグラン・ヒラフスキー場前をスタートし、コース前半に設定された山岳ポイントを超えると、標高差約700mを一気に駆け降りて、ニセコ山系を巡りながら、再び倶知安町に戻る今大会最長距離の186Kmのコース。完走者46名。

9月11日の第3ステージは、前日と同じくニセコグラン・ヒラフスキー場前からスタートし、羊蹄山の裾野を周り、支笏湖畔を通って苫小牧市緑ヶ丘公園でフィニッシュする173kmのコース。完走者37名。

最終表彰式は苫小牧市緑ヶ丘公園ハイランドスポーツセンターで行われた。

個人総合時間賞で優勝を果たしたのは、門田祐輔（EFエデュケーション-NIPPO ディベロップメントチーム）。

個人総合ポイント賞は、今村駿介（チームブリヂストンサイクリング）。

個人総合山岳賞は、留目夕陽（EFエデュケーション-NIPPO ディベロップメントチーム）

団体総合時間賞は、キナンレーシングチーム。

U26団体総合時間賞は、EFエデュケーション-NIPPO ディベロップメントチーム。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催であったが、大会開催期間中は、地元関係市町村、国及び北海道等の関係行政機関からの積極的な支援・協力を受けて、競技を円滑に実施することができた。特に地元市町村からは、コース整理員の配置、会場等設営協力、特産品の提供など、地域を挙げての支援・協力を受けるとともに、沿道観衆からは、熱い声援を受けるなど、白熱したレース展開の様子は新聞各紙や自治体の広報誌に掲載された。

また、今回は、コロナウィルスの感染状況を踏まえ、会場内は無観客実施としたため、スタート・フィニッシュ・表彰式では、初めてリアルタイムの状況をYouTubeで生配信を行うとともに、3日間にわたるステージレースの様子は、毎日、ホームページ上でダイジェスト版の動画配信を行い、後日、総集編の公開も行った。

監督・選手等からは、タウンtoタウンのラインレースは北海道だけであり、大変貴重で得難い経験、表彰された選手からは、魅力的なコースで沿道からの温かい声援は素晴らしいと称賛されるとともに、地元地域からは地域振興・活性化につながる感謝と高い評価を受けたところである。

本大会の開催を通じて、参加選手、特に大学生などの若手選手にとっては、本格的なロードレースや貴重な国際大会の経験を積むことで、競技力向上と人材育成に資する場とすることができた。また、自転車競技の魅力を広く地域社会に伝え、サイクルスポーツの普及・振興に貢献や地域における観光、産業の振興・活性化に大きく寄与するものとなった。

なお、本大会は公益財団法人JKAからの競輪公益資金による補助金を得て実施した。

2 ツール・ド・北海道による健康・体力の増進のための事業

一般市民の自由な参加による「市民レース大会」は、6月19日（日）、長沼町の北長沼スキー場周辺特設コースにおいて、ロードレース（1週7.8kmの周回コース）を開催し、北海道内外から134名が参加した。

本大会はツール・ド・北海道2022の北海道地域選抜チーム選手選考会を兼ねて実施した。

本大会の開催を通じて、国民の健康・体力の増進、サイクルスポーツの普及・振興、地域の振興、活性化等に貢献した。

なお、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ助成金を得て実施した。

3 サイクルスポーツの普及・振興及び自転車利用の普及・啓発のための事業

定款に定める当協会の目的と同一の目的を有する他のサイクルスポーツ関係のイベントについては、次のとおり協力（後援）を行い、サイクルスポーツの普及・振興等に寄与した。

- (1) 5/29 第41回道新杯サイクルロードレース（長沼町）
- (2) 6/5 The29th Mt.Moiwa hill climb（札幌市）
- (3) 8/21 第20回Sapporo小・中学生サイクルロードレース（札幌市）
- (4) 8/21 第15回モエレ沼タイムトライアル（札幌市）
- (5) 9/25 第63回札幌市民体育大会サイクルロードレース（札幌市）

4 その他

(1) 理事会

- ア 第1回 令和4年5月19日
令和3年度事業報告及び決算について
定時評議員会の開催について
ツール・ド・北海道2023UCIカレンダー登録申請について
(公財) JKA補助金交付決定の受諾等について

- イ 書 面 令和4年6月8日
代表理事及び業務執行理事の選定について

ウ 書 面 令和4年7月5日
代表理事の選定について

エ 第2回 令和5年3月15日
令和5年度事業計画及び収支予算について
ツール・ド・北海道2023実施概要について

(2) 評議員会

ア 定 時 令和4年6月8日
令和3年度事業報告及び決算について
理事の選任について

イ 書 面 令和4年7月5日
綿貫民輔の辞任及び橋本聖子氏の理事選任について